

別表第5 現代生活学部授業科目の名称, 単位数及び履修方法

区分	授業科目	単位数			配当年次	備考			
		必修	選択必修	選択					
共通教養科目	教養科目	文化と人間A(日本の文化)		2		1・2・3・4			
		文化と人間B(世界の文化)		2		1・2・3・4			
		文化と人間C(文学)		2		1・2・3・4			
		文化と人間D(芸術)		2		1・2・3・4			
		社会と人間A(経済)		2		1・2・3・4			
		社会と人間B(教育)		2		1・2・3・4			
		社会と人間C(法学)		2		1・2・3・4			
		社会と人間D(マスコミ)		2		1・2・3・4			
		自然と人間A(生命)		2		1・2・3・4			
		自然と人間B(健康)		2		1・2・3・4			
		自然と人間C(環境)		2		1・2・3・4			
		自然と人間D(現代科学)		2		1・2・3・4			
		人間論A		2		1・2・3・4			
		人間論B		2		1・2・3・4			
		人権論A		2		1・2・3・4			
		人権論B		2		1・2・3・4			
		情報基礎A		2		1・2・3・4			
		情報基礎B		2		1・2・3・4			
		健康科学A		2		1・2・3・4			
		健康科学B		2		1・2・3・4			
		日本国憲法		2		1・2・3・4			
		データサイエンス入門		2		1・2・3・4			
		外国語科目		英語A		1		1・2・3・4	
				英語B		1		1・2・3・4	
				英語C		1		1・2・3・4	
				英語D		1		1・2・3・4	
				英語E		1		2・3・4	
英語F				1		2・3・4			
英語G				1		2・3・4			
英語H				1		2・3・4			
フランス語I				2		1・2・3・4			
フランス語II				2		1・2・3・4			
中国語I				2		1・2・3・4			
中国語II				2		1・2・3・4			
ハンガールI				2		1・2・3・4			
ハンガールII				2		1・2・3・4			
スペイン語I				2		1・2・3・4			
スペイン語II				2		1・2・3・4			

食物栄養学科

区分	授業科目	単位数			配当年次	備考	
		必修	選択必修	選択			
専門基礎科目	基礎演習Ⅰ	1			1・2・3・4		
	基礎演習Ⅱ	1			1・2・3・4		
	現代生活論	2			1・2・3・4		
	日本語表現法		2		1・2・3・4		
	基礎化学		2		1・2・3・4		
	基礎生物		2		1・2・3・4		
	情報処理		2		1・2・3・4		
	基礎実験		1		1・2・3・4		
	文化環境論		2		1・2・3・4		
	生活環境論		2		1・2・3・4		
	消費生活論		2		1・2・3・4		
	食文化論		2		1・2・3・4		
	専門科目	生化学		2		2・3・4	
		基礎栄養学Ⅰ		2		1・2・3・4	
基礎栄養学実験			1		2・3・4		
応用栄養学Ⅰ			2		1・2・3・4		
応用栄養学Ⅱ			2		2・3・4		
応用栄養学Ⅲ			2		2・3・4		
応用栄養学実験			1		3・4		
生化学実験			1		2・3・4		
解剖生理学Ⅰ			2		1・2・3・4		
解剖生理学Ⅱ			2		1・2・3・4		
解剖生理学実験			1		2・3・4		
運動生理学			2		2・3・4		
運動生理学実験			1		2・3・4		
臨床医学概論Ⅰ			2		2・3・4		
臨床医学概論Ⅱ			2		2・3・4		
臨床医学概論Ⅲ			2		3・4		
食品学総論			2		1・2・3・4		
食品学各論			2		1・2・3・4		
食品学実験Ⅰ			1		1・2・3・4		
食品学実験Ⅱ			1		2・3・4		
食品衛生学			2		2・3・4		
食品衛生学実験			1		2・3・4		
微生物学			2		1・2・3・4		
微生物学実験			1		2・3・4		
調理理学			2		1・2・3・4		
調理学実習Ⅰ			1		1・2・3・4		
調理学実習Ⅱ		1		2・3・4			
食品加工学実習		1		2・3・4			
栄養教育論Ⅰ		2		2・3・4			

区分	授業科目	単位数			配当年次	備考
		必修	選択必修	選択		
	栄養教育論Ⅱ		2		3・4	
	栄養教育論Ⅲ		2		3・4	
	栄養教育論実習Ⅰ		1		3・4	
	臨床栄養学Ⅰ		2		2・3・4	
	臨床栄養学Ⅱ		2		2・3・4	
	臨床栄養学Ⅲ		2		2・3・4	
	食事介助論		2		3・4	
	臨床栄養学実習Ⅰ		1		2・3・4	
	臨床栄養学実習Ⅱ		1		3・4	
	臨床栄養学実習Ⅲ		1		3・4	
	公衆栄養学Ⅰ		2		3・4	
	公衆栄養学Ⅱ		2		3・4	
	公衆栄養学実習		1		3・4	
	給食経営管理論Ⅰ		2		2・3・4	
	給食経営管理論Ⅱ		2		2・3・4	
	給食経営管理実習		2		3・4	
	公衆衛生学Ⅰ		2		2・3・4	
	公衆衛生学Ⅱ		2		2・3・4	
	公衆衛生学Ⅲ		2		3・4	
	管理栄養士総合演習Ⅰ		1		3・4	
	管理栄養士総合演習Ⅱ		1		4	
	臨地実習Ⅰ(給食の運営)		1		3・4	
	臨地実習Ⅱ(臨床栄養学ⅰ)		2		3・4	
	臨地実習Ⅲ(臨床栄養学ⅱ)		1		3・4	
	臨地実習Ⅳ(公衆栄養学)		1		3・4	
	臨地実習Ⅴ(給食経営管理論)		1		3・4	
専門関連科目	調理学実習Ⅲ		1		3・4	
	フードマーケティング論		2		3・4	
	フードスペシャリスト論		2		3・4	
	フードプロセス論		2		3・4	
	フードコーディネーター論		2		3・4	
	食品マネジメント演習		2		3・4	
	発達心理学		2		1・2・3・4	
	学校栄養教育論Ⅰ		2		3・4	
	学校栄養教育論Ⅱ		2		3・4	
	栄養教育論実習Ⅱ		1		3・4	
	家庭看護		2		2・3・4	
	実践スポーツ栄養学		2		2・3・4	
	健康スポーツ演習		2		3・4	
	家族福祉論		2		3・4	
	地域文化論		2		1・2・3・4	
生活経営学		2		1・2・3・4		

区分	授業科目	単位数			配当年次	備考
		必修	選択必修	選択		
	奈良学研究		2		2・3・4	
	食環境論		2		3・4	
	サプリメントアドバイザー特別演習		2		3・4	
	食物栄養特別演習Ⅰ		2		3・4	
	食物栄養特別演習Ⅱ		2		4	
	食物栄養特別演習Ⅲ		2		4	
	体験型職業力開発Ⅰ		2		2・3・4	
	体験型職業力開発Ⅱ		2		3・4	
	海外文化演習		2		1・2・3・4	
専門研究科目	ゼミナールⅠ	1			3・4	
	ゼミナールⅡ	1			4	
	ゼミナールⅢ	1			4	
	卒業研究			8	4	

居住空間デザイン学科

区分	授業科目	単位数			配当年次	備考	
		必修	選択必修	選択			
専門基礎科目	基礎演習Ⅰ	1			1・2・3・4		
	基礎演習Ⅱ	1			1・2・3・4		
	現代生活論	2			1・2・3・4		
	消費生活論		2		1・2・3・4		
	生活環境論		2		1・2・3・4		
	文化環境論		2		1・2・3・4		
	デザイン		2		1・2・3・4		
	芸術論		2		1・2・3・4		
	西洋美術史		2		1・2・3・4		
	基礎数学		2		1・2・3・4		
	デジタルデザイン基礎		2		1・2・3・4		
	データ処理と解析		2		2・3・4		
	専門科目	住宅計画	2			1・2・3・4	
		図と表現		2		1・2・3・4	
製図実習			2		1・2・3・4		
空間デザイン実習Ⅰ			2		1・2・3・4		
空間デザイン実習Ⅱ			2		2・3・4		
空間デザイン実習Ⅲ			2		2・3・4		
インテリア・建築デザイン実習Ⅰ			2		3・4		
インテリア・建築デザイン実習Ⅱ			2		3・4		
インテリアデザイン実習			2		2・3・4		
建築CAD実習Ⅰ			2		3・4		
建築CAD実習Ⅱ			2		3・4		
建築計画			2		1・2・3・4		
インテリア計画			2		2・3・4		
商業空間デザイン			2		3・4		
住文化史			2		1・2・3・4		
建築史A			2		2・3・4		
建築史B			2		2・3・4		
ユニバーサルデザイン			2		2・3・4		
建築環境工学			2		2・3・4		
建築設備			2		3・4		
構造力学			2		2・3・4		
構造力学演習			2		2・3・4		
建築一般構造			2		1・2・3・4		
構法構造設計			2		2・3・4		
建築材料		2		2・3・4			
建築施工		2		2・3・4			
建築法規		2		2・3・4			
デザイン概論		2		1・2・3・4			
人間工学		2		2・3・4			

区分	授業科目	単位数			配当年次	備考
		必修	選択必修	選択		
	家具デザイン		2		2・3・4	
	近代デザイン史		2		2・3・4	
	色彩学		2		2・3・4	
	環境デザイン		2		3・4	
	環境心理		2		3・4	
	基礎表現実習Ⅰ		2		1・2・3・4	
	基礎表現実習Ⅱ		2		1・2・3・4	
	マテリアル実習		2		2・3・4	
	プロダクトデザイン		2		2・3・4	
	プロダクトデザイン実習Ⅰ		2		2・3・4	
	プロダクトデザイン実習Ⅱ		2		3・4	
	プロダクトデザイン実習Ⅲ		2		3・4	
	ビジュアルコミュニケーション		2		2・3・4	
	グラフィックデザイン実習		2		2・3・4	
	ビジュアルデザイン実習A		2		3・4	
	ビジュアルデザイン実習B		2		3・4	
専門関連科目	奈良学研究		2		2・3・4	
	デジタルデザイン演習		2		2・3・4	
	WEBデザイン実習		2		2・3・4	
	3Dデザイン実習		2		3・4	
	デザインマーケティング		2		3・4	
	住宅設備機器		2		2・3・4	
	光環境計画		2		3・4	
	建築実験		2		3・4	
	空間AⅠ基礎		2		2・3・4	
	空間データサイエンス演習		2		3・4	
	デジタル測量		2		3・4	
	発達心理学		2		2・3・4	
	家族福祉論		2		3・4	
	食文化論		2		1・2・3・4	
	家庭看護		2		2・3・4	
	生活経営学		2		1・2・3・4	
	被服学		2		1・2・3・4	
	被服構成実習Ⅰ		1		1・2・3・4	
	被服構成実習Ⅱ		1		2・3・4	
	食物学		2		1・2・3・4	
	調理実習Ⅰ		1		1・2・3・4	
	調理実習Ⅱ		1		1・2・3・4	
	保育学		2		1・2・3・4	
国際教育学		2		3・4		
体験型職業力開発Ⅰ		2		2・3・4		
体験型職業力開発Ⅱ		2		3・4		

区分	授業科目	単位数			配当年次	備考
		必修	選択必修	選択		
	海外文化演習		2		1・2・3・4	
専門研究科目	ゼミナールⅠ	1			4	
	ゼミナールⅡ	1			4	
	卒業研究	8			4	

〔履修方法〕

一 学生は、学則第17条に定める卒業に必要な単位を修得するために、別表第5に掲げる授業科目について、次の1から3に従って履修し、合計124単位以上を修得しなければならない。

1 共通教養科目（各学科共通）

下記(1)および(2)に従い、合計20単位以上履修すること。

- | | |
|-------------|--------|
| (1) 教養科目から、 | 12単位以上 |
| (2) 外国語科目から | 8単位以上 |

2 専門科目

各学科の専門科目の履修方法は次のとおりとする。

(1) 食物栄養学科

下記のア～エの計67単位以上を履修すること。

- | | |
|----------------------|---------|
| ア 「専門基礎科目」必修4単位を含めて、 | 計10単位以上 |
| イ 「専門基幹科目」 | 計40単位以上 |
| ウ 「専門関連科目」 | 計14単位以上 |
| エ 「専門研究科目」必修3単位を含めて、 | 計3単位以上 |

(2) 居住空間デザイン学科

下記のア～エの計82単位以上を履修すること。

- | | |
|----------------------|----------|
| ア 「専門基礎科目」必修4単位を含めて、 | 計10単位以上 |
| イ 「専門基幹科目」 | 計48単位以上 |
| ウ 「専門関連科目」 | 計14単位以上 |
| エ 「専門研究科目」 | 必修 計10単位 |

3 卒業所要単位数124単位と上記1及び2に従い修得した最低単位数との差を、各学科ごとに、どの科目区分から充足してもよい。

4 履修に関するその他の取扱事項

(1) 履修配当年次について

- ア 各授業科目は、履修することができる年次を示す配当年次が定められている。
- イ 配当年次より上級年次の学生が下級年次に配当された科目を履修することはできないが、配当年次より下級年次の学生が上級年次に配当された科目を履修することはできない。

(2) 年間履修単位数の制限について

- ア 1学年度に履修できる単位数は、48単位以内とする。なお、教職課程の教育の基礎的理解に関する科目等、司書教諭課程の専門科目、海外短期語学研修受講学生適用科目、放送大学の授業科目及びその他大学が指定する特別科目の単位数は、年間履修単位数の制限外とする。

(3) 履修を制限する科目について

- ア 英語以外の外国語科目とゼミナールについては、ステップ制をとる。従って、Ⅰを修得しなければⅡを履修することができない。
- イ ゼミナールⅠについては、食物栄養学科は、3年次前期終了時における総修得単位数が52単位未満の者は、履修することができない。居住空間デザイン学科は、3年次後期終了時における総修得単位数が80単位未満の者は、履修することができない。
- ウ 卒業研究については、食物栄養学科は、ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲの単位を修得しなければ修得することができない。居住空間デザイン学科は、ゼミナールⅠ・Ⅱを修得しなければ修得することができない。

エ 居住空間デザイン学科の専門科目について、次のとおりとする。

履修を制限する科目	左記の科目を履修するために 単位修得が条件となる科目
空間デザイン実習Ⅰ	製図実習
空間デザイン実習Ⅱ	空間デザイン実習Ⅰ
空間デザイン実習Ⅲ	空間デザイン実習Ⅱ
インテリア・建築デザイン実習Ⅰ	空間デザイン実習Ⅲ又はインテリアデザイン実習
インテリア・建築デザイン実習Ⅱ	インテリア・建築デザイン実習Ⅰ
インテリアデザイン実習	空間デザイン実習Ⅱ
建築CAD実習Ⅰ	空間デザイン実習Ⅱ
建築CAD実習Ⅱ	建築CAD実習Ⅰ及び空間デザイン実習Ⅲ、又はインテリアデザイン実習のいずれか
プロダクトデザイン実習Ⅰ	基礎表現実習Ⅰ及び基礎表現実習Ⅱ
プロダクトデザイン実習Ⅱ	基礎表現実習Ⅰ及び基礎表現実習Ⅱ
プロダクトデザイン実習Ⅲ	基礎表現実習Ⅰ及び基礎表現実習Ⅱ
構造力学演習	構造力学
建築実験	構造力学、構法構造設計及び建築環境工学

- (4) 特別講義の開講について
教育上適切と認める時は、現代生活学部カリキュラム表にない科目を特別講義として、開講することがある。特別講義は、原則として単年度開講とし、配当年次、単位数、算入できる科目群等については、教授会で決定する。
- (5) 他学部・他学科の授業科目について
ア 他学部・他学科において開設されている授業科目を履修する場合は、予め当該学部長に願い出てその許可を得なければならない。
イ 上記アにより履修し修得した単位は、20単位を上限として、前記3の単位数に算入することができる。
- (6) 別表第7の全学教育開発センター授業科目について（履修方法について別に定める規定を適用する科目を除く）
別表第7に定める授業科目を履修し修得した単位については、次の通り措置する。
ア 海外短期語学研修受講学生適用科目の単位は、専門関連科目「海外文化演習（2単位）」として認定する。
イ キャリア支援形成科目の「体験型職業力開発Ⅰ」及び「体験型職業力開発Ⅱ」（各2単位）は、それぞれ専門関連科目の単位として認定する。
ウ それ以外の科目の単位は、他学部他学科の授業科目と合わせて20単位を上限として、前記3の単位数に算入することができる。
- (7) 他の大学における授業科目の履修について
教育上適切と認めるときは、他の大学の授業科目を履修し修得した単位を卒業に必要な単位として算入することができる。算入できる科目群等は教授会において決定する。他の大学における授業科目の履修には、次のものが該当する。
ア 奈良県大学間単位互換協定加盟大学の授業科目
イ 放送大学の授業科目
ウ 海外協定大学の授業科目
エ その他、教育上適切と認める国内外の大学の授業科目
- (8) 令和3年度から開始する放送大学の授業科目履修は、令和2年度以前入学者にも適用する。

一の2 学生（休学者を除く。）は、各学期に授業科目を履修登録しなければならない。

二 外国人留学生及び編入学生の履修方法については、前記一に定めるほか次の規定を適用する。

1 外国人留学生の場合（別表第7「外国人留学生適用科目」の履修）

外国人留学生が、外国人留学生適用科目の単位を修得した場合は、16単位を限度として、前記1の単位数に算入することができる。

2 編入学生の場合

(1) 学生が、編入学前に他の大学又は短期大学等において修得した単位（以下、「既修

得単位」という。)については、教授会が大学教育の水準に相応しい内容であるか精査した上で認定した単位数を卒業に必要な124単位の中に算入することができる。

- (2) 3年次編入の場合、算入できる単位数は、既修得単位数について学部3年次生の授業科目の中から62単位を限度に個別に認定することができる。
- (3) 2年次編入の場合、算入できる単位数は、既修得単位数について学部2年次生の授業科目の中から36単位を限度に個別に認定することができる。
- (4) 学生は、第2号又は第3号により認定された単位数を卒業所要単位数から差し引いた残りの単位について、これを修得しなければならない。

三 教育職員免許状（高等学校一種（家庭）・中学校一種（家庭）・栄養教諭一種）を取得しようとする者は、前記一に規定する科目のほか、次の科目を履修し、その単位を修得しなければならない。また、栄養教諭一種の免許状取得希望者は、併せて栄養士免許の取得及び管理栄養士課程を修了すること。

1 教育の基礎的理解に関する科目等

- (1) 高等学校一種（家庭）の教育職員免許状を取得しようとする者は、下表のなかから必修科目を含め25単位以上を、中学校一種（家庭）の教育職員免許状を取得しようとする者は、下表のなかから必修科目を含め29単位以上を修得しなければならない。

区分	科目	単位数		配当年次	備考
		必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	2		2	}いずれか一科目必修
	教職入門	2		1	
	教育行政学		2	3	
	教育社会学		2	3	
	教育心理学	2		2	
	特別支援教育論 教育課程論	2 2		2 2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育論	(2)		2	中学家庭の教育職員免許状取得希望者のみ必修
	特別活動および総合的な学習の時間の指導法	2		2	
	教育の方法・ICTの活用	2		2	
	生徒・進路指導論	2		3	
	教育相談	2		3	
教育実践に関する科目	教育実習Ⅰ(事前・事後の指導を含む)	3		4	中学家庭の教育職員免許状取得希望者のみ必修
	教育実習Ⅱ	(2)		4	
	教職実践演習(中・高)	2		4	

(2) 栄養教諭一種の教育職員免許状を取得しようとする者は、下表のなかから必修科目を含め26単位以上を修得しなければならない。

区分	科目	単位数		配当年次	備考
		必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	2		2	} いずれか一科目必修
	教職入門	2		1	
	教育行政学		2	3	
	教育社会学		2	3	
	教育心理学	2		2	
	特別支援教育論	2		2	
	教育課程論	2		2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育論	2		2	
	特別活動および総合的な学習の時間の指導法	2		2	
	教育の方法・ICTの活用	2		2	
	生徒・進路指導論	2		3	
	教育相談	2		3	
教育実践に関する科目	学校栄養教育実習(事前・事後の指導を含む)	2		4	
	教職実践演習(栄養教諭)	2		4	

2 教科及び教科の指導法に関する科目

(1) 高等学校一種(家庭)の教育職員免許状を取得しようとする者は、下表のなかから必修科目を含め32単位を修得しなければならない。

区分	授業科目	単位数		配当年次	備考	
		必修	選択			
教科及び教科の指導法に関する科目	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む)	生活経営学	2		1	
		消費生活論		2	1	
		現代生活論	2		1	
		家族福祉論	2		3	
	被服学(被服実習を含む)	被服学	2		1	
		被服構成実習Ⅰ	1		1	
		被服構成実習Ⅱ	1		2	
	食物学(栄養学, 食品学及び調理実習を含む)	食物学	2		1	
		調理実習Ⅰ	1		1	
		調理実習Ⅱ	1		1	
	住居学	住宅計画	2		1	
		建築一般構造	2		1	
		住宅設備機器	2		2	
		インテリア計画		2	2	
		住文化史		2	1	
保育学	保育学	2		1		
	家庭看護	2		2		

区分	授業科目	単位数		配当年次	備考
		必修	選択		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	教科教育法（家庭科）Ⅰ	4		2	

(2) 中学校一種（家庭）の教育職員免許状を取得しようとする者は、下表のなかから必修科目を含め28単位を修得しなければならない。

区分	授業科目	単位数		配当年次	備考
		必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む）	生活経営学	2	2	1
		消費生活論			1
		現代生活論	2		1
		家族福祉論	2		3
	被服学（被服実習を含む）	被服学	2		1
		被服構成実習Ⅰ	1		1
	被服構成実習Ⅱ	被服構成実習Ⅱ	1		2
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む）	食物学	2		1
		調理実習Ⅰ	1		1
調理実習Ⅱ		1	1		
住居学	住宅計画	2		1	
	建築一般構造	2		1	
	インテリア計画			2	
住文化史	住文化史			2	
				1	
保育学	保育学	2		1	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	教科教育法（家庭科）Ⅰ	4		2	
	教科教育法（家庭科）Ⅱ	2		3	
	教科教育法（家庭科）Ⅲ	2		3	

(3) 栄養教諭一種の教育職員免許状を取得しようとする者は、下表の必修科目4単位を修得しなければならない。

区分	左記区分に対応する専門科目		備考	
	授業科目	単位数		
		必修		選択
栄養に係る教育に関する科目	学校栄養教育論Ⅰ	2		
	学校栄養教育論Ⅱ	2		

3 大学が独自に設定する科目

(1) 高等学校一種（家庭）の教育職員免許状を取得しようとする者は、下表の科目と前記1の教育の基礎的理解に関する科目等及び前記2の教科及び教科の指導法に関する科目の教育職員免許法施行規則に定められた最低修得単位を超えて修得した単位と併せて12単位以上修得しなければならない。

(2) 中学校一種（家庭）の教育職員免許状を取得しようとする者は、下表の科目と前記 1 の教育の基礎的理解に関する科目等及び前記 2 の教科及び教科の指導法に関する科目の教育職員免許法施行規則に定められた最低修得単位を超えて修得した単位と併せて 4 単位以上修得しなければならない。

区分	左記区分に対応する専門科目				配当年次	備考
	授業科目	単位数				
		必修	選択			
大学が独自に設定する科目	人権論 A		2	1	} いずれか 一科目必修	
	人権論 B		2	1		
	国際教育学		2	3	} 高校家庭の教育職員 免許状取得希望者のみ	
	道徳教育論		(2)	2		
	総合演習	2		2		

4 その他履修を必要とする科目

教職免許状取得希望者は、前記 1～3 の他に教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定められた科目として、次の科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

区分	授業科目	単位数
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	健康科学 A	2
	健康科学 B	2
外国語コミュニケーション	英語 A	1
	英語 B	1
情報機器の操作	情報基礎 A	2
	情報基礎 B	2

(最低修得単位数)

免許状の種類・教科	教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定められた科目	計
高等学校一種(家庭)	25単位①	32単位②	4単位※	8単位	69単位以上
中学校一種(家庭)	29単位	28単位	4単位	8単位	69単位以上
栄養教諭一種	26単位	4単位	—	8単位	38単位以上

※「大学が独自に設定する科目」の教育職員免許法施行規則に定められた最低修得単位は 12 単位であり、①（最低修得単位 23 単位）及び②（最低修得単位 24 単位）の最低修得単位を超えた単位を併せることにより 12 単位を充たす。

四 管理栄養士国家試験受験資格を取得しようとする者は、前記一に規定する科目のほか、次の科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

教育内容	単位数		本学授業科目	単位数		
	講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習	
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	10	公衆衛生学Ⅰ	2	
				公衆衛生学Ⅱ	2	
				公衆衛生学Ⅲ	2	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14		解剖生理学Ⅰ	2	
				解剖生理学Ⅱ	2	
				解剖生理学実験		1
				運動生理学	2	
				運動生理学実験		1
				生化学	2	
				生化学実験		1
				臨床医学概論Ⅰ	2	
				臨床医学概論Ⅱ	2	
臨床医学概論Ⅲ	2					
微生物学	2					
微生物学実験		1				
食べ物と健康	8		食品学総論	2		
			食品学各論	2		
			食品加工学実習		1	
			食品衛生学	2		
			食品衛生学実験		1	
			食品学実験Ⅰ		1	
			食品学実験Ⅱ		1	
			調理学	2		
			調理学実習Ⅰ		1	
			調理学実習Ⅱ		1	
専門分野	基礎栄養学	2	8	基礎栄養学Ⅰ	2	
				基礎栄養学実験		1
	応用栄養学	6		応用栄養学Ⅰ	2	
				応用栄養学Ⅱ	2	
				応用栄養学Ⅲ	2	
				応用栄養学実習		1
	栄養教育論	6		栄養教育論Ⅰ	2	
				栄養教育論Ⅱ	2	
				栄養教育論Ⅲ	2	
				栄養教育論実習Ⅰ		1
	臨床栄養学	8		臨床栄養学Ⅰ	2	
				臨床栄養学Ⅱ	2	
				臨床栄養学Ⅲ	2	
				食事介助論	2	
				臨床栄養学実習Ⅰ		1

教育内容		単位数		本学授業科目	単位数	
		講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習
	公衆栄養学	4		臨床栄養学実習Ⅱ		1
				臨床栄養学実習Ⅲ		1
				公衆栄養学Ⅰ	2	
	給食経営管理論	4		公衆栄養学Ⅱ	2	
				公衆栄養学実習		1
総合演習	2	—	給食経営管理論Ⅰ	2		
			給食経営管理論Ⅱ	2		
臨地実習		4	給食経営管理実習		2	
			管理栄養士総合演習Ⅰ	1		
			管理栄養士総合演習Ⅱ	1		
			臨地実習Ⅰ（給食の運営）		1	
			臨地実習Ⅱ（臨床栄養学ⅰ）		2	
			臨地実習Ⅲ（臨床栄養学ⅱ）		1	
			臨地実習Ⅳ（公衆栄養学）		1	
			臨地実習Ⅴ（給食経営管理論）		1	
小計		60	22	小計	62	23
合計		82		合計	85	

五 栄養士の資格を取得しようとする者は、前記一に規定する科目のほか、次の科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

教育内容		単位数		本学授業科目	単位数	
		講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習
社会生活と健康	4	4	公衆衛生学Ⅰ	2		
人体の構造と機能	8		公衆衛生学Ⅱ	2		
			解剖生理学Ⅰ	2		
			解剖生理学Ⅱ	2		
		解剖生理学実験		1		
食品と衛生	6		生化学	2		
			生化学実験		1	
			臨床医学概論Ⅰ	2		
			食品学総論	2		
			食品学各論	2		
栄養と健康	8	10	食品衛生学	2		
			食品衛生学実験		1	
			食品学実験Ⅰ		1	
			基礎栄養学Ⅰ	2		
			基礎栄養学実験		1	
			応用栄養学Ⅰ	2		
			応用栄養学Ⅱ	2		
			応用栄養学Ⅲ	2		
			応用栄養学実習		1	

教育内容	単位数		本学授業科目	単位数	
	講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習
栄養の指導	6		臨床栄養学Ⅰ	2	1
			臨床栄養学Ⅱ	2	
			臨床栄養学実習Ⅰ		
			栄養教育論Ⅰ	2	1
			栄養教育論Ⅱ	2	
栄養教育論実習Ⅰ		1			
公衆栄養学Ⅰ	2	1			
公衆栄養学実習					
給食の運営	4		調理学	2	1
			調理学実習Ⅰ		
			調理学実習Ⅱ		1
			給食経営管理論Ⅰ	2	2
			給食経営管理論Ⅱ	2	
			給食経営管理実習		
			臨地実習Ⅰ(給食の運営)		1
小計	36	14	小計	42	14
合計	50		合計	56	

六 一級及び二級建築士の受験資格を得ようとする者は、前記一に規定する科目のほか、次の科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

指定科目の分類		科目名	履修学年	必修選択	単位数
二級	一級				
①建築設計製図(3単位以上)	①建築設計製図(7単位以上)	製図実習	1	選択	2
		空間デザイン実習Ⅰ	1	選択	2
		空間デザイン実習Ⅱ	2	選択	2
		空間デザイン実習Ⅲ	2	選択	2
		インテリア・建築デザイン実習Ⅰ	3	選択	2
		インテリア・建築デザイン実習Ⅱ	3	選択	2
		建築CAD実習Ⅰ	3	選択	2
		建築CAD実習Ⅱ	3	選択	2
②～④建築計画、建築環境工学又は建築設備(2単位以上)	②建築計画(7単位以上)	住宅計画	1	必修	2
		建築史B	2	選択	2
		インテリア計画	2	選択	2
		住文化史	1	選択	2
		建築史A	2	選択	2
		商業空間デザイン	3	選択	2
		建築計画	1	選択	2
	③建築環境工学(2単位以上)	建築環境工学	2	選択	2
		光環境計画	3	選択	2
	④建築設備(2単位以上)	④建築設備(2単位以上)	建築設備	3	選択
住宅設備機器			2	選択	2

指定科目の分類		科目名	履修学年	必修選択	単位数
二級	一級				
⑤～⑦構造力学, 建築一般構造又は建築材料(3単位以上)	⑤構造力学(4単位以上)	構造力学 構造力学演習	2 2	選択 選択	2 2
	⑥建築一般構造(3単位以上)	建築一般構造 構法構造設計	1 2	選択 選択	2 2
		⑦建築材料(2単位以上)	建築材料	2	選択
⑧建築生産(1単位以上)	⑧建築生産(2単位以上)	建築施工	2	選択	2
⑨建築法規(1単位以上)	⑨建築法規(1単位以上)	建築法規	2	選択	2
⑩その他(適宜)	⑩その他(適宜)	建築実験	3	選択	2
		色彩学	2	選択	2
		環境デザイン	3	選択	2
		デザイン概論	1	選択	2
		基礎表現実習Ⅰ	1	選択	2
		人間工学	2	選択	2
		環境心理	3	選択	2
		近代デザイン史	2	選択	2
		図と表現	2	選択	2
		ユニバーサルデザイン インテリアデザイン実習	2 2	選択 選択	2 2
10単位以上	30単位以上	①～⑨の必要単位数			
20単位以上	40単位以上	①～⑩の必要単位数			

七 インテリアプランナーの登録資格を得ようとする者は、前記一に規定する科目のほか、次の科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

科目名	単位数	必要単位数
デザイン	2	A (36-B-C) 単位以上
芸術論	2	
西洋美術史	2	
建築史B	2	
住文化史	2	
建築史A	2	
プロダクトデザイン	2	
プロダクトデザイン実習Ⅰ	2	
プロダクトデザイン実習Ⅱ	2	
デザイン概論	2	
環境デザイン	2	
近代デザイン史	2	
ビジュアルコミュニケーション	2	

基礎表現実習Ⅰ	2	B (24-C) 単位以上
色彩	2	
住宅計画	2	
建築CAD実習Ⅰ	2	
建築CAD実習Ⅱ	2	
商業空間デザイン	2	
インテリア計画	2	
ユニバーサルデザイン	2	
建築計画	2	
建築環境工学	2	
建築設備	2	
構造力学	2	
建築一般構造	2	
建築材料	2	
建築施工	2	
建築法規	2	
家具デザイン	2	
人間工学	2	
プロダクトデザイン実習Ⅲ	2	
光環境計画	2	
製図実習	2	C 2単位以上
空間デザイン実習Ⅰ	2	
空間デザイン実習Ⅱ	2	
空間デザイン実習Ⅲ	2	
インテリア・建築デザイン実習Ⅰ	2	
インテリア・建築デザイン実習Ⅱ	2	
インテリアデザイン実習	2	

八 商業施設士補の資格を得ようとする者は、前記一に規定する科目のほか、次の科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

A群

区分	内容	本学授業科目	単位	必要単位数
A-1 商業一般	商業一般に関する科目	現代生活論 消費生活論 生活環境論 デザインマーケティング	各2	2区分以上に わたり、計3 0単位以上
A-2 業務計画	商業施設の構成に関する科目	商業空間デザイン 家具デザイン 環境デザイン 環境心理 近代デザイン史	各2	

A-3 計画一般	商業施設の企画，商業施設の計画，法規，安全計画，展示・装置計画，設計に関する科目	西洋美術史 建築史 B インテリア計画 ユニバーサルデザイン 人間工学 色彩学 光環境工学	各2	
A-4 施設計画	建築一般に関する科目	住宅計画 建築史 A 建築計画 建築環境工学 建築設備学 構造力学 建築一般構造 建築法規	各2	
A-5 監理・施工	商空間の工事監理・施工に関する科目	建築材料 建築施工	各2	

B群

区分	内容	本学授業科目	単位	必要単位数
B-1 図案表現	設計・製図・CAD・CGなどにより，商業施設を構想し表現することに関する科目	製図実習 空間デザイン実習Ⅰ 空間デザイン実習Ⅱ 空間デザイン実習Ⅲ インテリア・建築デザイン実習Ⅰ インテリア・建築デザイン実習Ⅱ インテリアデザイン実習 建築CAD実習Ⅰ 建築CAD実習Ⅱ	各2	4単位以上

九 司書教諭の資格を取得しようとする者は，前記一に規定する科目のほか，次の科目を履修し，その単位を修得しなければならない。また，併せて教育職員免許状（除く：栄養教諭）の取得を必要とする。

学校図書館司書教諭講習規程の科目	左記科目に対応する本学設置の専門科目	単位数	備考
学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館	2	
学校図書館メディアの構成	学校図書館メディアの構成	2	
学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館	2	
読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性	2	
情報メディアの活用	情報メディアの活用	2	